

科目名	簿記 I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
英文表記	Book keeping I	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
			開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	ひろせ たいゆう	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	広瀬 大有	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	日商簿記検定試験2級・商業簿記				
到達目標	通常、合格到達所要時間は「120～150時間」。従って講義外の学習が97.5～105時間の勉強が求められる。				
授業概要	令和4年度（6月、11月、翌年2月）対策用講義である。				
授業計画					
第1回	第1章 簿記一巡の手続と財務諸表 ①損益計算書 ②貸借対照表				
第2回	第1章 簿記一巡の手続と財務諸表 ③株主資本等変動計算書				
第3回	第10章 株式会社の純資産（資本） ①株式会社の設立・開業				
第4回	第10章 株式会社の純資産（資本） ②増資（新株の発行）				
第5回	第10章 株式会社の純資産（資本） ③剰余金の配当及び処分				
第6回	第4章 有価証券 ①売買目的有価証券 ②満期保有目的債券				
第7回	第4章 有価証券 ③子会社株式及び関連会社株式				
第8回	第4章 有価証券 ④その他有価証券				
第9回	第7章 固定資産 ①固定資産の分類				
第10回	第7章 固定資産 ②減価償却の計算方法及び記帳方法				
第11回	第7章 固定資産 ③圧縮記帳				
第12回	第14章 決算 ①決算整理				
第13回	第14章 決算 ②英米式決算法				
第14回	第14章 決算 ③製造業を営む会社の決算				
第15回	第14章 決算 ④財務諸表の作成方法				
第16回	定期試験				
授業時間外の 学習	自主的勉強会（土曜日、祝日など）への参加を勧める。早期合格を目指す学生に対する指導を行っている。				
履修条件 受講のルール	日商3級取得者が望ましい。ただし、今後の勉強次第で、不合格者でも2級合格している勉強会出身者は多数いる。				
テキスト	渡部裕亘・片山覚・北村敬子 編著『検定簿記講義 2級商業簿記』（2022年度版）				
参考文献・資料	渡部裕亘・片山覚・北村敬子 編著『検定簿記ワークブック 2級商業簿記』（2022年度版）				
成績評価の方法	総合評価方式 ① テスト 70% ② 課題提出 30% ※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	① 毎週火曜日 14:40～16:10 ② 水曜日 13:00～14:30				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	① 2級レベルは、最も企業に求められる資格の一つ。財務担当者に必須。 ② 1級レベルは、合格すると税理士試験の受験資格取得。大学等で専門に学ぶ者に期待するレベル。 2級合格者は、本学では鈴木寿先生に指導を受けることを勧める。